

第9回 訓練シナリオ開発ワーキンググループ議事概要

1. 日時：令和4年5月31日 14:00～15:15
2. 場所：原子力規制庁 ERC
3. 出席者
原子力規制庁
金子緊急事態対策監
緊急事案対策室
古金谷室長、川崎企画調整官、平野室長補佐、澤村防災専門官、
反町専門職
(以下、テレビ会議システムで参加)
北海道電力株式会社
原子力事業統括部 原子力業務グループ 副主幹 他7名
東北電力株式会社
原子力本部 原子力部（原子力防災担当） 課長 他5名
東京電力ホールディングス株式会社
原子力運営管理部 防災安全グループ グループマネージャー他6名
中部電力株式会社
原子力部 防災・核物質防護グループ 課長 他2名
北陸電力株式会社
原子力本部 原子力部 原子力防災チーム 統括 他2名
関西電力株式会社
原子力事業本部 原子力安全・技術部門 安全・防災グループ
チーフマネージャー 他8名
中国電力株式会社
電源事業本部 原子力運営グループ マネージャー 他3名
四国電力株式会社
原子力本部 管理グループ グループリーダー 他9名
九州電力株式会社
原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他10名
日本原子力発電株式会社
発電管理室 警備・防災グループ グループマネージャー 他6名
原子力エネルギー協議会
副長

4. 議題

- 議題 1 令和 3 年度における I 型訓練の取り組みについて
- 議題 2 令和 3 年度における II 型訓練の取り組みについて
- 議題 3 令和 4 年度訓練実施方針について

5. 議事要旨

議題 1 令和 3 年度における I 型訓練の取り組みについて

令和 3 年度における I 型訓練の取り組みについて議論し、主に以下の事項を合意した（資料 1-1-1 から資料 1-5）。

- シナリオの多様化については、訓練のあり方の検討の中で今後議論が進んでいくが、I 型訓練で本来想定している指揮者の能力向上に資するよう、手順書に書かれていない手順が必要なシナリオ等について今後の取り組みとして検討する。
- 訓練で得られた気づき事項に対する改善について、引き続き CAP 活動に組み込み実施する。
- 令和 3 年度における I 型訓練の実績、令和 4 年度における訓練実施計画等を訓練報告会で報告をする。

議題 2 令和 3 年度における II 型訓練の取り組みについて

令和 3 年度における II 型訓練の取り組みについて議論し、主に以下の事項を合意した（資料 2-1-1 から資料 2-3）。

- コロナ禍であることから各社による評価は DVD を活用して行っているが、現地でなくとも適切に評価できるよう、撮影方法の工夫等について引き続き取り組む。
- 令和 3 年度における II 型訓練の実績、令和 4 年度における訓練実施計画等を訓練報告会で報告をすることとした

議題 3 令和 4 年度訓練実施方針について

令和 4 年度の I 型及び II 型訓練の実実施方針について説明があり、訓練報告会で報告をすることとした（資料 3）。

以上